

# 積算

(紐付け)

## 合算工事の紐付

各工区ごとに紐付設定を行います。  
例として、A「本工事」とB「付帯工事」でご説明します。

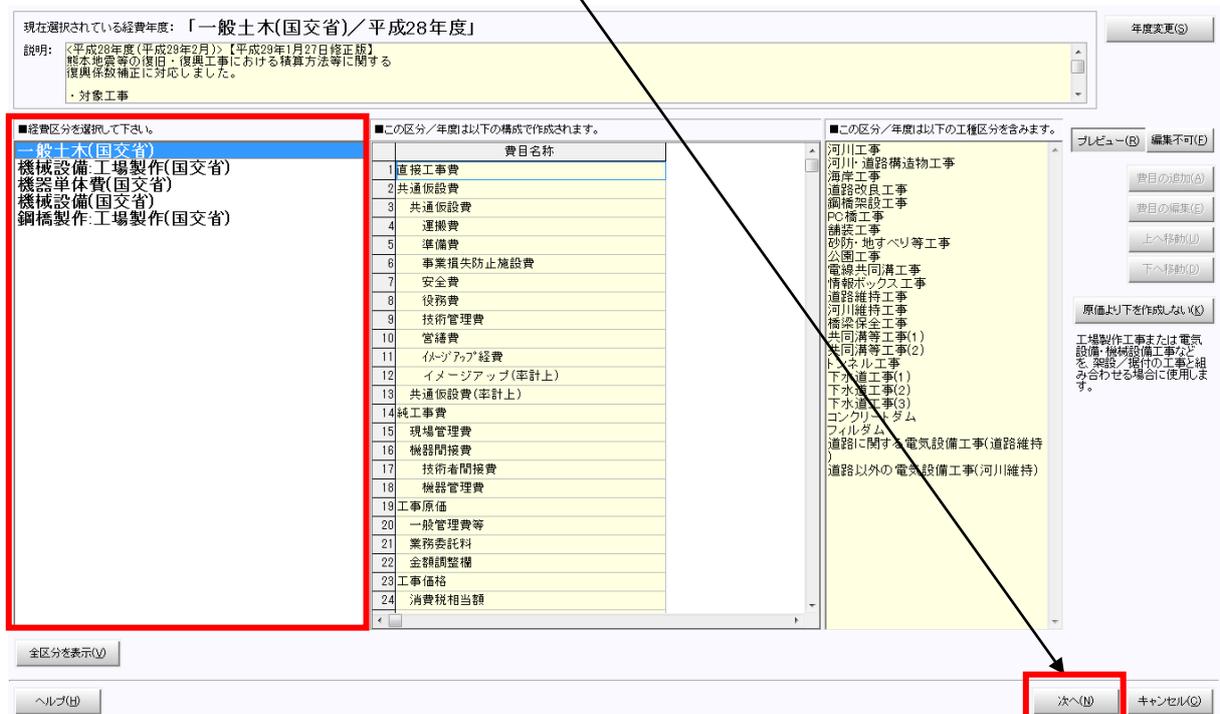
### 1. A「本工事」の紐付けを行う

A「本工事」の直接工事費内の行をクリックした状態で、 をクリックします。



### 2. 経費区分の選択

該当の経費区分を選択し、右下の「次へ」をクリックします。



### 3. 紐付け画面で設定する

「間接費紐付け」画面が表示されます。画面左側に取り込んだ設計書の間接費項目が表示されます。画面右側に Gaia9 の間接費項目が表示されます（赤色の行が、紐付けが必要な行です）。

赤色の行が存在しない場合：紐付け設定の変更が不要な場合は、そのまま [実行] をクリックします。

赤色の行が存在する場合：紐付け設定を行ってください。「間接費紐付け」画面の左下[マニュアル]ボタンを押すと、画像付きの手順書が表示されます。

P3-8～P3-11 をご参照ください。

設計書の間接費に該当する行を、間接費に紐付けします。この操作は経費計算を行うために必要です。紐付けをする「元」と「先」をクリックして下さい。すべての紐付けが終わったら、「実行」ボタンをクリックして下さい。

...紐付けが必要   
  ...紐付け不可または他の経費区分で紐付け済   
  ...自分または親表が紐付け済

■設計書の間接費名称			■Gaia9の間接費名称 (一般土木(国交省)/平成28年度)		
元	先	費用名称	元	先	費用名称
14	14	直接工事費	14	14	直接工事費
15	15	共通仮設費	15	15	共通仮設費
16	16	共通仮設費	16	16	共通仮設費
17	17	安全費	17	17	運搬費
		交通誘導警備員日 交替要員有り			準備費
		交通誘導警備員B 作業区分=昼間勤務(交替要員有り): 1,000			事業損失防止施設費
		交通誘導警備員B(8h単価) 昼間勤務 実働8h(交替有り) 基準額*1.2			安全費
		諸 雑 費			役務費
18	18	イメージアップ(率計上)	18	18	技術管理費
19	19	共通仮設費(率計上)	19	19	富積費
20	20	純工事費	20	20	イメージアップ経費
21	21	現場管理費	21	21	イメージアップ(率計上)
22	22	工事原価	22	22	共通仮設費(率計上)

マニュアル(M)   
 全解除(D)   
 紐付け解除(L)   
 経費区分再選択(S)   
実行(E)   
 キャンセル(Q)

### 4. B「付帯工事1」の紐付けを行う

操作手順 1.～3.と同様です。

B「付帯工事1」の直接工事費内の行をクリックした状態で、 をクリックします。

合算工事の紐付け方法 - Gaia9

工事(K) 編集(E) 表示(V) 単価(I) 経費(C) ツール(L) オプション(O) サポート(S) よくある質問(Q) ヘルプ(H)

検索 大系 単価 一覧表 別工事 付帯 元は再入力可 単価 再帰上 間接費設定 経費 印刷/Excel 設計書 数量表 合意単価 工事 日当施工 新着情報 ヘルプ

自動標準の労務費 (標準金額) ランク (標準) H28(0)

工事名表に戻る(F12)

集計 内訳 内代 明細 明代 代価 単表 間接 諸雑 小計 手書 注釈

挿入 位置 最後 カール上 カール下 PDF 連動 真記録 真確認

■工事メニュー

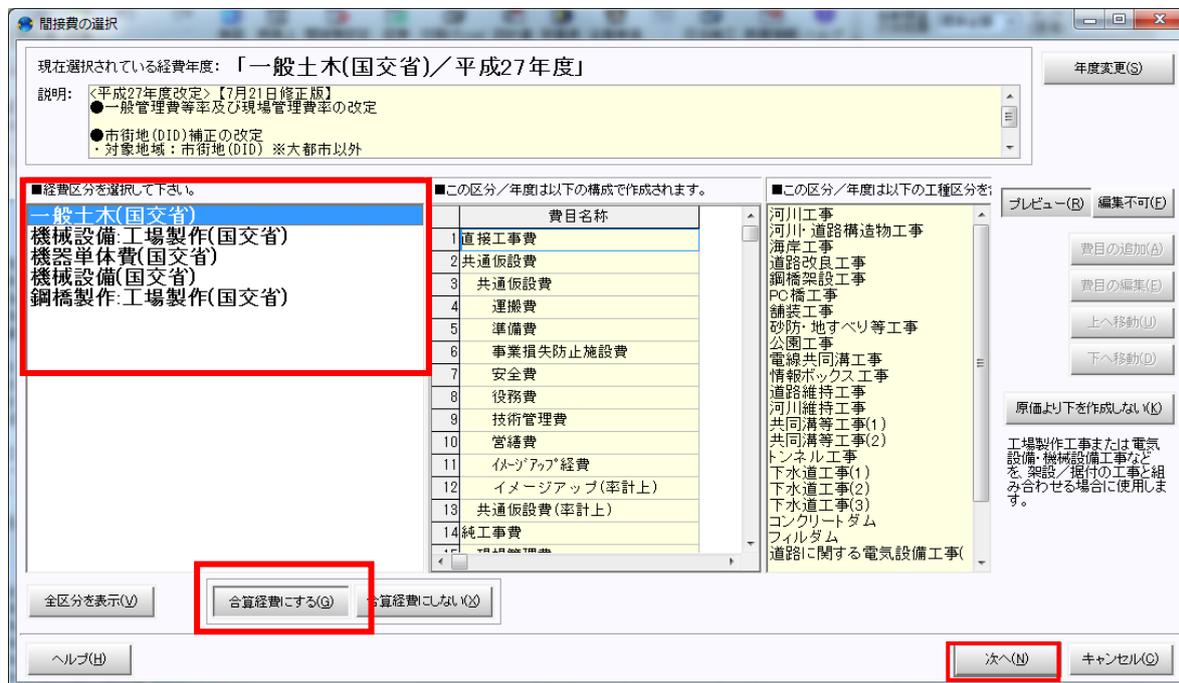
- 作業土工
  - 床掘 [第10号内訳表]
  - 埋戻し [第19号内訳表]
  - 埋戻し(カマド) [施工第1]
  - 土砂等運搬 [第20号内訳表]
  - 多自然型護岸工
  - 多段種かごマツ [第21号内訳表]
  - 築土工 [第22号内訳表]
- 覆土工
  - 覆土(流用土) [第23号内訳表]
  - 捨石工
  - 捨石 [施工第9号内訳表]
  - 表面均し [施工第10号内訳表]
- 仮設工
  - 工事用通路工
  - 工事用通路盛土 設置
  - 工事用通路盛土 撤去
  - 敷鉄板 (護岸工) [第24号内訳表]

**本工事費内訳書**

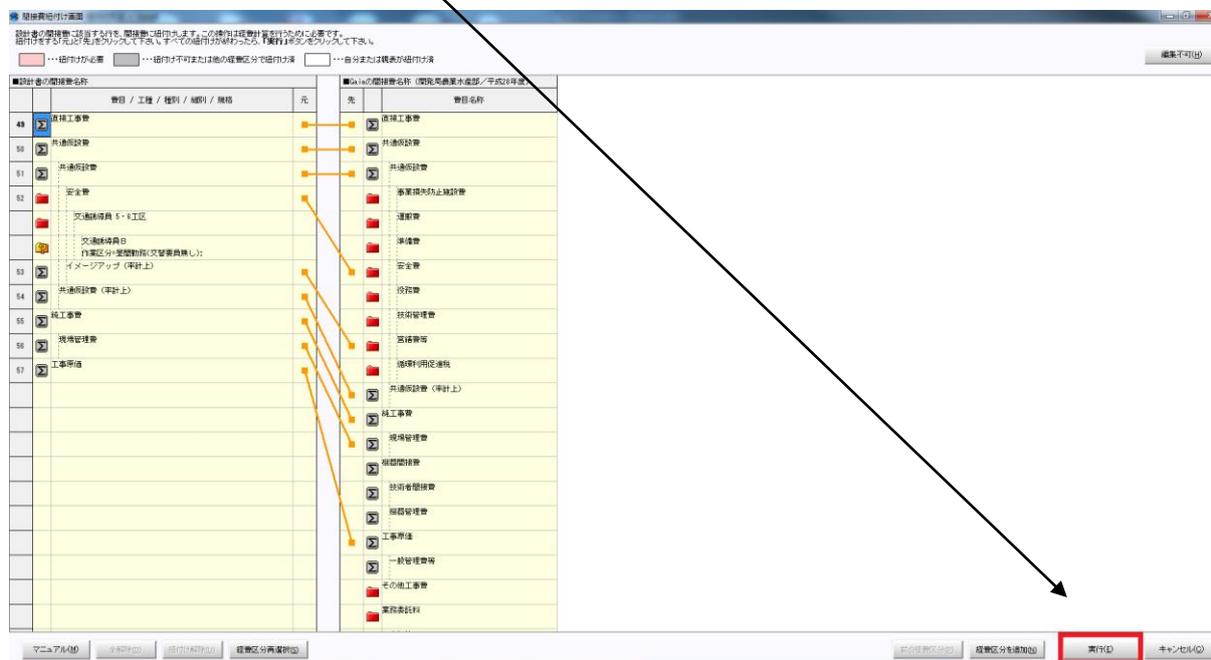
付帯	費目/工程/種別/細別/規格	単位	数量	単価	金額
48	直接工事費	式	1		
50	共通仮設費	式	1		
51	共通仮設費	式	1		
52	安全費	式	1		74号内訳
53	イメージアップ(率計上)	式	1		

続いて経費区分を選択します。

「間接費の選択」画面で A 「本工事」 で作成した間接費と同じ区分をクリックします。  
画面下の [合算経費にする] を選択し、[次へ] をクリックします。



紐付けを確認して、右下の [実行] をクリックします。



※3 工区目以降もある場合は、手順 4.と同じ操作を繰り返します。

3 工区目以降は、「間接費の選択」画面の [合算経費にする] が選択済みの状態になっています。

## 5. 経費計算を行う

合算経費計算を行います。



をクリックします。

費目/工種/種別/細別/規格	単位	数量	単価	金額
直接工事費	式	1		75,188,200
共通仮設費	式	1		
共通仮設費	式	1		
安全費	式	1		
技術管理費	式	1		
イメージアップ(率計上)	式	1		

再積上げの処理選択の画面が出てきますので、[OK] をクリックします。

計算を始める前に、再積上げが必要です。  
再積上げの設定を確認して下さい。

再積上げの処理選択

- 単価金額を更新(U)
- 元登録単価(一般単価)の更新(Q)
- 元登録単価(労務、損料)の更新(E)
- 総括表で設定されている地区に更新(A)
- 更新する単価を一覧で表示・選択(H)
- 数量の掛け率を更新(P)
- 単価の掛け率を更新(Q)
- 丸め設定を更新(M)
  - 金額を手入力した表も丸めの更新を行う(N)
  - 間接費積上げ費目も丸めの更新を行う(I)
- 再積上げの度に設定を確認する(K)
- 号番号振り直しを行う(\*) (G)

※の設定は保存されません。

経費の条件選択を行い、合算経費計算を行います。

①の「合算経費全体」の条件を変更すると、各設計書の条件②も連動します。  
各設計書ごとに、個別に設定することもできますが、その場合も、①の「合算経費全体」の条件も選択を行って下さい。

条件設定完了後、[合算経費計算を行う] より経費算出を行います。  
算出結果の画面にて「この経費に決定」をクリックすると、合算経費計算結果が本工事内訳書に書き込まれます。

■ 経費条件を選択して下さい。

条件を変更するには、条件をダブルクリックするかEnterキーを押して下さい。

左端「合算経費全体」の条件を変更すると、合算で扱う設計書全体の経費条件を同じ内容にすることが出来ます。  
合算する設計書の経費条件を個別に変更するには、該当の設計書の列の条件を変更して下さい。

条件を選択したら、「合算経費計算を行う」を押して下さい。

現場管理費の冬期補正率計算

日付を設定して[計算する]と、工期と冬期から冬期補正率を算出します。  
(該当期間でなければ「補正しない」になります)  
※個別に変更するには各工事の条件を変更して下さい。

当初発注 [----/--/--] ~ [----/--/--] **1** 計算する(D)

	合算経費全体	A 本工事	B 付帯工事
工程区分	現場整備工事	現場整備工事	現場整備工事
施工地域・工事場所による補正	地方部(一般交通の影響を受けない)	地方部(一般交通の影響を受けない)	地方部(一般交通の影響を受けない)
施工時期(冬期)補正	補正なし	補正なし	補正なし
前払金支出割合区分	35%を超え40%以下	35%を超え40%以下	35%を超え40%以下
契約保証に係る補正	金銭的保証必要	金銭的保証必要	金銭的保証必要
技術者間接費率(電気通信)	計上しない	計上しない	計上しない
工事価格丸め	一万円丸め切捨一般管理調整	一万円丸め切捨一般管理調整	一万円丸め切捨一般管理調整
消費税率			8

工程区分の説明

工程区分は、工事内容により適切に選定するものとし、2種以上の工程内容からなる工事については、それぞれの工程区分により算出した、直接工事費・事業損失防止施設費の合計額が最も大きい工程を適用します。

マニュアル(M)

合算経費計算を行う(N)

キャンセル(C)

条件選択後、「経費一覧」画面が表示されます。  
内容を確認し、 をクリックします。

経費一覧：合算工事の紐付け方法

経費計算の新規作成(A) 経費計算の削除(D) 経費計算名称の変更(E) 経費計算結果の比較(H) ヘルプ(P)

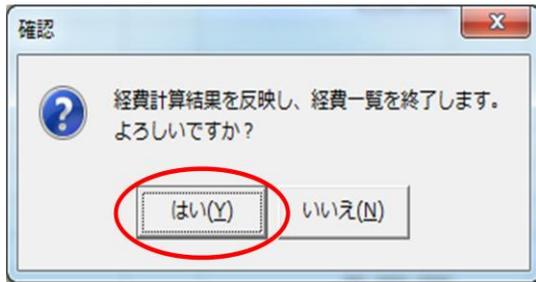
経費区分名: 一般土木(国交省) / 年度名: 平成28年度

経費計算 1

**この経費に決定(N)** 再計算(S) 条件選択(J) Excel(X) 簡易表示(K) 詳細表示(I) 全表示(Z)

この経費に決定を押して反映して下さい。

確認メッセージで [はい] をクリックします。



本工事費内訳書の各工事にそれぞれ計算結果が反映されます。

設計内訳書							工事価格(合算)	157,840,000
付箋	費目/工種/種別/細別/規格	単位	数量	単価	金額	挿入		
11	掘削 3工区 土砂	m <sup>3</sup>	9,000	2,050	18,450,000	施工第 2号内		
12	石灰処理工	式	1		5,350,000			
13	石灰処理 1・2工区 生石灰35kg/m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	50	7,000	350,000	施工第 3号内		
14	石灰処理 3工区 生石灰35kg/m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	100	50,000	5,000,000	施工第 4号内		
15	直接工事費	式	1		100,538,100			
16	共通仮設費	式	1		7,611,400			
17	共通仮設費	式	1		41,400			
18	安全費	式	1		27,000			